



ドキュメントの出力フローを改善し、一元管理で多能化へ。

お客様：代表取締役 佃 祥孝 様（中部鋁業株式会社 様）

担当者：大石 雄平（福井キヤノン事務機株式会社）

ドキュメントソリューション (imageWARE Desktop)

■ お客様プロフィール

お客様名 : 中部鋁業株式会社
所在地 : 〒919-0212
南条郡南越前町鯖波 35 字 12 番地 2
社員数 : 21 名（男性 16 名、女性 5 名）
事業内容 : 珪石鋁山の採掘及び選鋁品の販売
所有鋁山 : 福井鋁山、南条鋁山、大鶴目鋁山、丸山鋁山
URL : <https://chubukogyo.wixsite.com/website>

「珪石鋁山採掘専業、半世紀。」

南条・今庄地区では鋁業法に規定されている珪石が産出し、1970 年代には国内有数の生産地として全国に出荷されていきました。時代の変化に伴い、用途も変容しましたが、今なお代替が困難である故、我々は「安定生産と安定供給」を念頭に置き、限りある資源を有効に開発する“資源屋”としての責任を持って、日々鋁山開発に勤しんでおります。

ソリューション導入前の課題

多種多様なファイルで作成する資料は、時間も手間もかかり負担大。

中部鋁業株式会社 様では、社内で使用していた複合機の調子が悪くなったこともあり、入れ替えを検討されていました。以前使用していた複合機も調子が悪くて、入れ替えたものの、その入れ替えた複合機も紙詰まりが頻発するなど調子が悪く、業務効率が低下している状態でした。

Q: 導入前に直面していた課題は、どのようなものでしたか？

A: 会議資料を作成する際は、画像ファイルや様々なアプリケーションで作成したデータを一つ一つ開き、一度 PDF に変換してファイルを結合してから、印刷していました。そのような資料作成の手順を把握していたのは私だけだったので、昼から会議があると午前中はほとんどその作業に時間を費やしていました。その上、複合機の調子が悪くなってサポートをお願いしても翌日まで対応してもらえず、課題解決のための提案もなかったため、本来やるべき業務に影響が出ている状況でした。

Q: いつ頃、導入をご検討されましたか？

A: 複合機の入替えを検討していた時期だったと思います。御社から、異なるアプリケーションでも一元管理ができるドキュメントソリューションのご提案をいただいたことがきっかけでした。サポートもすぐに駆け付けていただけると聞き、とても有難いご提案でした。

Q: 導入前に他社のソリューションと比較されましたか？

A: 今までの複合機は会社が県外ということもあり、翌日の修理は当たり前というサポート体制だったので、他社との比較はしませんでした。

業務上の課題を深く理解した上でのご提案が決め手でした。

Q: 福井キヤノンからの導入の決め手となったことは？

A: 営業担当の大石さんが、私たちの業務課題を把握した上で、本当に役立つ良いものをご提案して下さいました。

Q: 御社にとって弊社の担当者はどのような存在ですか？

A: 何でも話しやすいです。御社のソリューション導入事例を拝見させていただきましたが、複合機だけではなく、ネットワークなどさまざまなソリューションを福井県内企業にご提案されていらっしゃるし、逆に言うと私は専門ではないですから、今後もし何かあればぜひ「こんなことをしたいけど、何か良いものはないか？」と相談させていただこうと思っています。そのように聞ける立場の人がいるというだけでも非常に心強いですね。



中部鉱業株式会社 様



ソリューション導入後の変化

ICT を活用した業務改善で属人化から多能化へ。

福井キヤノンから導入させていただいたソリューション。導入後、中部鉱業株式会社 様の業務にどのようにお役に立てたでしょうか？お客様の本音を語っていただきました。

Q: 導入後、使われてみていかがでしたか？

A: 資料に使うデータが異なるアプリケーションであっても、従来のように一つ一つ起動し、印刷設定して、綴じて・・・という作業がなくなりました。一つの画面でプレビューも見れて、一括して印刷設定ができるので、こうした一元管理ができることによって、作業効率が向上しましたね。

Q: 中でも最も良かった点はございますか？

A: 今まで、複数のアプリケーションを組み合わせでの複雑な資料作成は、私しかできない状況でしたが、社員が簡単な手順で作成できるようになったことは、とても良かったです。

Q: 現在、社長以外に社員の方も活用されていますか？

A: 保安統括者や現場監督者など、会議をする立場の社員がよく使っています。関係する監督官庁からのデータや自社で作成した Word や Excel、画像データなど会議資料は複数のデータを使用することがあるので、かなり生産性は高まりましたね。



代表取締役 佃 祥孝 様

中部鉱業株式会社 様の目指されているビジョン

資源屋としての責任を具現化。

珪石の用途はコンクリートの部材となるセメントの副原材料や、ALC（軽量気泡コンクリート）の骨材など、近年さらに需要が旺盛になっており、国内の需給環境もタイトです。
資源を枯渇させず永く製品の供給を行うという資源屋としての責任を全うすべく、お客様からの製品に対するご要望に即対応が出来るように、実際に仕事に携わっている「現場」が主体となるような社内体制を構築中です。その上で、的確な意思疎通が行える社内会議運営のためにも、さらなる情報共有ツールの導入を進めていきたいと考えております。

福井キヤノンお客様担当者紹介

お客様担当者として心がけること

私は、自らの知識やスキルをお客様の仕事にどのようにお役に立てるかを常に考えながら、お客様に投げかけています。
今後も担当としてお役に立つ為に、中部鉱業様を更に知り、「中部鉱業様の事なら大石に聞けば分かる」という存在を目指していきたいと思えます。



S&S チーム A リーダー 大石 雄平

取材日：2019年4月10日